

むつ市地域おこし協力隊活動状況報告書

むつ市長 山本 知也 殿

隊員氏名 小池 拓矢

次のとおり活動したことを報告します。

【活動報告月：2023年7月分】

1. 実施した活動の概要・状況

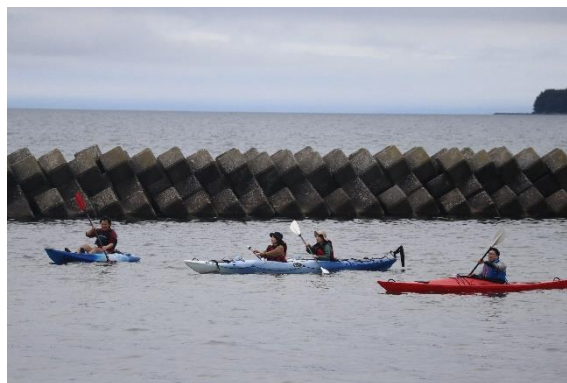
昨年度モニターツアー等を行ったカヤック・SUP 体験プログラムの受付を開始したほか、むつ市から依頼を受けたむつ湾環境活動体験会や青森テレビ主催のアマモについて学ぶイベントを実施した。

（主な活動）

◇カヤック・SUP 体験プログラム

川内川河口がスタート、かわうち・まりん・ビーチがゴールのカヤック・SUP 体験プログラムの販売を、しもきた TABI あしすとを通して開始した。10月まで個人のお客様からの受付を行う予定だが、7月は計10名のお客様に体験していただいた。

実際に料金をお客様からいただいて販売するという一方で、天候に注意しながらの安全管理はもちろんのこと、楽しませるためにガイドができることなど、経験を重ねながらプログラムをブラッシュアップしていきたい。これまで利用いただいたお客様からは、「初めてだったけど楽しかった」、「今回はカヤックを体験したが、次はSUPをやってみたいなど」の感想をいただいている。



◇7月15日（土） むつ湾環境活動体験会

むつ湾広域環境連携協議会主催、むつ市環境政策課の運営による海岸清掃とカヤック体験活動の依頼を受け、実施する予定だったが、雨天のため、施設内での講義と工作体験を実施した。

講義では、陸奥湾やジオパークについての話のほか、大崎隊員が海の生き物の紹介を実施。晴れた日にはぜひ子どもたちに生き物探しをしてもらいたい。さらに、海岸で拾ったシーグラスや貝殻を使ったペン立てづくりにも取り組んでもらい、あいにくの天気ではあったが、海ゴミや陸奥湾の豊かさについて子どもたちに考えてもらう機会となった。



◇7月22日（土） 海と日本プロジェクト「あおもりアマモ調査団」

海と日本プロジェクト in 青森県主催、ATV 青森テレビの企画運営による、アマモについて子どもたちに観察して知ってもらうイベントの講師の依頼を受け、実施した。

前半は、アマモの調査研究を行っている志田崇様にあまも海の役割などについてご講演いただき、実際にアマモ場の中にある生き物を前日から仕掛けていた網を引き上げて観察した。イシガニやヒメイカ、様々な魚種が網にかかっていた。後半は透明なカヤックに子どもたちを乗せて、海の上からアマモを観察してもらった。

子どもたちは海の生き物を興味深く観察しており、網を仕掛けた上での観察などは今後の体験でも取り入れていきたい。



2. 翌月の活動予定

8月2日（水） 海の子アカデミー 磯遊び体験実施（大間崎）

8月5日（土） かわうち・まりん・ビーチ ブース出店（KAMAFUSE MARKET）開始

8月12日（土） KAWAUCHI 星空教室実施

8月22日（火） シェルフオレスト川内 インターンシップ生受け入れ開始